



新たな門出を祝い 成人式

新成人の新たな門出を祝い、「成人式」が市民会館で行われました。市内の新成人1503人のうち1072人が、華やかな振袖や紋付きはかま、スーツ姿で出席。会場は、久しぶりに再会した友人たちとの楽しいおしゃべりに笑顔があふれ、式典終了後には、市内8中学校から推薦された48人の新成人が企画したアトラクションなどで大いに盛り上がっていました。（1月13日）



新春恒例 消防出初式

消防本部と消防団などおよそ600人が参加し、市民会館や土浦港などで「消防出初式」が行われました。土浦港北側広場では、土浦市とび職組合が木やり歌やはしご乗りなどのみごとな演技を披露。川口二丁目の土浦港では消防車50台と県防災ヘリコプターによる一斉放水が行われ、見物に来た多くの観客は寒さも忘れ、大きな歓声をあげていました。（1月5日）





本物のオーケストラ演奏を堪能

文化庁が主催する「本物の舞台芸術体験事業」の一環として、日本フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラ公演が、斗利出小学校で行われました。この事業は、児童や生徒が本物の舞台芸術を身近に触れることで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的としています。児童や保護者などは、すばらしい演奏を十分に堪能していました。（1月9日）



どんど焼きで病気知らず

しめ縄や松飾りなどを燃やし、1年の無病息災を願う正月の伝統行事「どんど焼き」が、桜川河川敷で行われました。持ち寄った正月用品が高く積み上げられ点火されると、勢いよく燃え上がり、だるまが次々に投げ入れられました。当日は風も強く寒い日でしたが、参加した人たちは、竹に刺した餅を火にかざしながら焼き、おいしそうに食べていました。（1月13日）



貴重な文化財を火災から守るために

1月26日の「文化財防火デー」に先がけて、沢辺の日枝神社境内で文化財の防火訓練を実施しました。市消防本部や山ノ荘小学校の児童、近隣住民などおよそ50人が参加し、通報訓練やバケツリレー、消火器の使い方など、さまざまな消火活動を体験。昔使われていた消防ポンプの水鉄砲のような放水の様子に、参加した児童たちは歓声を上げていました。（1月21日）

